

# 清國の婦人と子

(承前)

## 法貴慶次郎氏夫人

それから女學校は私立のが四つあります。それを皆參觀致しました。何れも小學校程度であります一つは技藝學校で重にも機を織つて居ります。京都の西陳から女工が行つて教へて居ます。外に女学校の先生には何んな人が居るかといふと餘り新しい教育を受けた人はございません。漢文の力は多少あるやうであります、新しい知識は乏し地理を教へると申しましても生徒も本を興へ自分らは椅子に腰を掛け居つて地理を朗讀するのであります、漢文の教師が地理を朗讀するのは宜しうございますが、地圖もなければ標本も何もない所で只朗讀して教へて居るのであります、唯外にクリスチヤンの學校は澤山あります、ロンドン、ミッショーンの學校を參觀いたしましたが數人の英國婦人が致して居りまして、漢文だけは支那

人の教師が一人居りました。これ等の英國婦人は三十年も支那人の教育に從事して居られるのでありますから支那語も自由自在に操て意思を十分に發表することが出来ますから遺憾なく教授をして居るのを見まして非常に私は感心いたしました。始めに見ましたのは幾何で御座いました。次の教授は西洋史でありましたが生徒が英語で讀みますとそれを支那語に譯して聞かせて居りました。其次の教授は唱歌の教授であります。譜は西洋の歌は漢譯で、多分讚美歌か何かでございました。其の教授は唱詠の教授であります。歌は西洋カリ漢語に譯しましてそれを生徒と教師が一緒になつて歌つて居る、さういふ風に教育して居る、學校の敷地も非常に廣く設備も完全して居り教師は二十年も三十年も支那に居る人であります、教育といふものは斯ういふ風にして始めて目的を達することが出来るので、又外國人を教育するには斯ういふ風にやらなければならぬ事であると非常に羨しく感心して見て參つたのであります。それから師範學堂の寄宿舎を參觀いたしました、

是簡易科のやうなもののが出来て居ります、寄宿に参りまするとコチラで使ひますやうな木の寝臺が幾つも並んで居りまして、其枕元には洗面器だの本箱だの色々並べてあつて其處らの様子は餘り紀律が正しいとは思はれないやうで御座いました。それから支那人の衛生のことありますか、支那人の衛生思想は非常に幼稚でございまして少しも進んで居らぬ、傳染病の恐ろしいものであるといふ感想は殆ど無いと言つて宜い位であります、例へば熱病の患者がございまして其排泄物のやうなものを總て往來に棄てる警察の方でも八釜しいことになつて居りますが、詰り銘々の衛生の心が進んで居りませぬから深く注意も致さないのであります、最も甚だしいのは人が死にますといふと其骸を自分の家に永く止めて置く、夏の暑い時でも六十日位家に置のありますからドンなに丈夫な棺を掩へましても板の隙間から自然と汁が流れ出す、汁が出るから臭氣が甚だしく蠅がたがる、さういふもの家に置くのであります、それから可笑いお話は石炭酸と云ふものは消毒になるもの

だからアレを持つて居ると毒が消えて仕舞ふといふことを聞いて居りまして、或る支那人が友人の不幸であるから是非お悔に行かなければならぬ、それが夏のことでございますから何んでも流行病に違ひない、日本人の所謂傳染病で死んだに違ひない、それでも友達のことであるからどうしても行かないればならぬ、色々思案の末ハンカチーフに石炭酸を浸して行けば宜いと云ふことを考付きましたハンカチーフに石炭酸の濃いのを十分に浸しまして悔に行きますと、一體アチラでは悔みに行くと泣くと云ふのが一般の習慣でありますから是非泣かなくてはなりません、さうして泣いては其強い石炭酸の浸みて居るハンカチーフで目拭きました歸宅後鏡を見ましたら顔が黒焦になつて居たと申します。

それからも一つ滑稽なお話は支那では赤ン坊が生れましても直ぐに産湯を使はせるといふことはなく、生れると先づ赤ン坊の體拭いて置くだけでありまして漸く三日目位になつてお湯を使はせるといふことであります、さう云ふ譯ですから產婦

も赤ン坊も隨分不潔でさうであります、さうして着物は御承知の通り袖が細うござりますから着せることが出来ないので生れたては風呂敷に包んで置く、少し體がシツカリして来てから着せる、又アチラは水が非常に不自由でありますから水を僱約することは非常なものである、水をゾンザイにすると神様の罰を蒙ると言つて居る位で、私共などで高い水でお湯を立てるのですから日本人はもつたいないことをすると言つて居りました、或時日本の産婆がお産に頼まれまして、産湯を使はせるからお湯を持つて来て下さいと言ひますと、小さな藥罐を提げて来ましたので、是では足りないからモット持つて来て下さいといふと又藥罐に持つて來た、まだ足りないと云ふと今度はお茶椀に入れて來たと云ふやうな譯で閉口したと云ふことであります、さうかと思ふと又中には突飛の支那人がありまして支那の水は汚ないから總て淨溜水であければならぬと云つて淨溜水を使ふ人もあります、是等は極く稀な例でありますがさういふ人もあります。

それから日本人の小学校は公使館内に一つ立つて居ります、教師は日本の何處かの師範学校を卒業した方で、其御夫婦に願つてあります、此方が教授上萬事お引受になつて生徒を六組に分けて教授して居ります、それから幼稚園がまだありますねから餘所の奥さん達と相談を致しまして子供會といふものを拵へて月一回開くことに致しまして、三つからの子供を連れて参ることに致しまして、それから支那人の幼稚園は北京に一ヶ所ございまず、實踐学校を卒業した支那婦人が設立者で、東京府の女子師範出身の方が主としてやつて居られます、生徒は四五十人位居りました。其科目は日本の幼稚園に倣ひまして保育致して居りますので子供は皆をとなしく喜んで致して居ります。

日本婦人の會合としては一月に一回づゝ婦人會を開きましてお互にお話をしたり或は各士の演説を伺つたりして居りました、其外天長節には公使館の夜會に招かれますし、又軍隊と日本人會と合併して祝賀會を開いて御眞影を拜し餘興には芝居相撲と云ふやうに色々ありまして殊に此日は嬉し

く暮しました。アチラでも菊は非常に立派なもの  
が出来ます、殆ど日本の菊に劣らないやうな非常  
に大きな花を咲かして美事でございます、其菊花  
を澤山飾りまして祝賀會を開かれるのでありま  
す、日本に居りましても、天子様の有難いことは  
勿論であります、が外國に居りまして多くの國の人  
人から馬鹿にされず戰勝國の民だと言つて尊ばれ  
るのは天子様のお蔭であると思ひます、さういふ  
有難さを痛切に感するのでござります、さういふ  
風に私共は榮譽ある國民として外國で生活して居  
りましたが、只一つ情けなく不名譽と感じました  
のは……他の國にもあることで支那ばかりではあ  
りますまいが、日本の醜業婦の澤山參つて居るこ  
とであります。

夏の夕方など派手な浴衣を著て殊に人の目を惹く  
やうな風體をして醜業婦が歩いて居るのを見ると  
イヤな心地が致します。斯ういふ外國まで来て國  
の恥を曝さなくて宜からうにと思ひます、さう  
いふ醜業婦などが横行して居ります爲に時とする  
と良家の奥さんなどが迷惑をするととか往々あり  
ます、實は私も或る夏の朝、車に乗りまして用達  
に行く途中でございましたが、獨逸の武官が、三  
四人連れで馬に乗て來のに出會ひました、すると  
行違ひに馬の上から私の方を見てイヤにニヤニヤ  
笑つて居るでござります、失禮な奴と思ひまし  
たがアトで考へて見ると醜業婦と間違へたのでござ  
いませう、ア、いふ人達が北京に入込んで居り  
ますのは殘念でござります、私共と同僚の奥さん  
もさういふ目に遭ひになりました、是は車から  
落されて怪我までされたのであります、それも矢  
張り醜業婦と間違へられたのであります實に殘  
念に思ふのでござります、殘念序でもう一つ殘  
念なお話を申上げます、アチラに喇嘛寺がござ  
ましてそれを見物に参りました、此御堂は幾つ  
も分れて居りまして皆堂守が附いて居ります、見  
物人の需に應じて案内して中を見せる、私共も參  
りまして見せて呉れと申しますと、見せることは  
見せるがお金を先に呉なければ見せる譯にいかない  
と申します、ソンなことを言はないでお金は上  
げるからお見せなさい、イヤ日本人には金を先に

取らなければ見せない、私共が是ソーンなこと致して居る中に外國の武官らしい人が矢張り見物に参りますると其人達にはサツ／＼と案内して参るのでござります、何せソーンなことを言ふのかと段々尋ねますと先達でも日本人が来て金は後でやるからと云ふので見せまして歸掛けに金を下さいといふと吳れませぬから跡を付いて行きますと、うるさいと言つてイキナリステッキで打ちました、以來さういふ酷い目に遭つて居りますから日本人には先に金を貰はなければならぬと申しました、これは若い人達が冗談半分にさういふことをしたのであらうと思ひますが、さういふ僅かなことの爲に日本人全體がさういふものと思はれますから殘念でござります、支那人といふと日清戦争以來チヤン／＼坊主、チヤン／＼坊主と輕蔑して居りますから自然子供なども見習ひまして甚だ困つたものだと存じます、外國人は決してさういふことはない、支那人だからと申して同一に取扱ひますから信認して居ります、所が日本人といふと皆瞞しでもするものか亂暴でもするかの如く考

へて居りますから、それも非常に殘念なことだと思ひます、どうぞして支那人でも馬鹿にせずにはかりでなく一般個人の交際の上にも同文同種の國でもござりまするから單に政治上商業上の關係ばかりでなく一般個人の交際の上にも麗はしい交際が出来やうかと存じます、甚だ纏りませぬが時間が大分遅れましたから失禮いたします。(完)

## 煙繩に就て

醫學博士

瀬川昌耆氏談

私は今日コチラへ出る積りではなかつたのであります、昨晩下田さんが御出でになりまして是非出て吳れ、代理をやつて吳れと云ふことで、代理のことありますから疎なことは出来ないが、思付いたことを御話したいと思ひます、殊に私の持前は誠に面白くない方の學問でありますから御聽になりましても面白くないかも知れませぬが、